

第 33 回 山のグラウンドワーク 事業実施報告書

1. 事業の概要

快晴の空に下、本年度最初の山のグラウンドワークは、広島大学の「森林と人間」「景観生態学」講座の第 1 回目の野外実習としてスタートしました。ゴールデンウィークのはじめとあって参加人数は多くはありませんでしたが、中国電力のエネルギー総合研究所や東広島営業所といった地元企業、呉市のホート・トレッキング・グループなどのボランティア団体に参加いただき順調に作業を行いました。午前中は、前回雪でそのままになっていた除伐材をチップにする作業を中心にシュレッダー2 台がフル稼働しました。午後からは学生は炭焼き用のマキづくりを行いました。中越教授のチェックを受け、炭に適した木、適さない軽い木に分け、炭窯に合わせて 40 センチにきっちり切り揃えたり、マキ割り機などでのマキ割りに挑戦していました。その他の班は、チェーンソー組を中心に除伐する班、シュレッダーでチップをつくり、酒米づくり用の堆肥にするべくチップに水と粒状石灰を混ぜて発酵を促す作業を行う班に分かれて作業を行いました。当初シュレッダーは 1 台だけでしたが、除伐材の多さに森林組合のシュレッダーも急遽出動しました。そのお陰で少し残ったものの、かなりの材がチップになり山はすっきりとなりました。
2. 日 時 2008 年 4 月 27 日（日）9：30～12：00
3. 場 所 東広島市憩いの森公園（龍王山）オートキャンプ 場芝生広場周辺保安林
4. 参加者 63 人（学生 26 人、一般・スタッフ 37 人）
5. 作業内容 雑木林の除伐、ウッドチップづくり・マキづくり
6. 天候 快晴
7. プログラム

8：45	スタッフ集合・準備
9：00	受付(セミナーハウス)
9：30	開会式（炭焼き広場）オリエンテーション
10：00	グラウンドワーク（除伐材の回収、チップづくり）
11：50	午前の部終了
12：50	グラウンドワーク（除伐、マキ割り・マキづくり、チップづくり）
14：40	片付け・閉会式
15：00	記念写真・解散
8. 役割り分担

総括責任者	前垣壽男（西条・山と水の環境機構）
指導責任者	中越信和（広島大学大学院教授）
作業指導	高下義彦（賀茂地方森林組合）
シュレッダー担当	藤川信也（フジ・エコテック）
進行責任者	畝崎辰登（西条・山と水の環境機構事務局）
司会進行	船本昌義（西条・山と水の環境機構事務局）
看護	村山裕子（井野口病院看護師）
9. 実施体制

事業主体／西条・山と水の環境機構、広島大学大学院
協 力／東広島市、賀茂地方森林組合、財団法人東光会、
井野口病院、フジ・エコテック



セミナーハウスで自ら受付する中越教授



早い人は受付開始 30 分以上前から来ました



開会式：あいさつする前垣理事と作業について説明する中越教授。班ごとに整列した参加者



フル稼働した中型と大型の 2 台のシュレッダー



山に残っていた除伐材を運び出す



二股に分かれた雑木を除伐して真直ぐな方を残す



間伐した材は運び出す



ウッドチップ



チップに水と石灰をまき発酵を促す



学生を集め、マキの作り方を説明する中越教授



40センチにきちんと測って手ノコで切る



除伐した木が炭焼き用材に生まれかわる



大きな木は、前垣理事がチェーンソーで切り分ける



太い木はマキ割り機で割る



閉会式で講評を述べる中越教授



昨年完成した倉庫に新しく設置した表札看板と山水機構の旗をバックに記念撮影